

教育訓練給付制度指定講座 明示書

教育訓練給付制度一般教育訓練指定講座(介護職員初任者研修)の講座情報を明示しております。

1. 講座情報

スクール名	ニチイ学館				
実施者	株式会社ニチイ学館				
講座名称	介護職員初任者研修(4ヶ月コース)				
指定講座番号	13019-131002-3				
教育訓練給付金対象講座の指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日				
講座の創設年月日	平成 25年 4 月 1日				
講座内容	資格取得講座(介護職員初任者研修)				
実施方法	通信	訓練期間(訓練時間)	4ヵ月 (131時間)		
開講月	毎月 ※教室により異なります。				
入学金(税込額)	0円	受講料(税込額)	118,800円	教育訓練経費合計(税込額)	118,800円 (含まれない経費等有)
支払方法	一括払・分割払				

2. 訓練目標

取得目標とする資格の名称、レベル	介護職員初任者研修
当該資格・試験の実施機関名称	47都道府県
資格取得のための要件または受験資格	特になし
この講座の修了により習得できる技能・知識の内容及び水準	介護職員初任者研修
当該技能・知識の習得が必須または有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	介護職 介護業界、医療業界

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

受講にあたって必要な実務経験	特になし
受講に最低限有しておくべき技能・知識の内容及び水準	演習を含む全ての課程を自分ひとりの力で受講・遂行することが可能な方

4. 教育訓練の受講による効果及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じて確認テストを行い習得度を確認している。
-----------------------------	----------------------------------

5. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

修了認定基準	全スクーリングを出席、確認テスト、修了試験の合格をもって修了認定とする。
--------	--------------------------------------

※都道府県により内容変更あり

6. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

受講者に対する習得度、理解度についての具体的な助言・指導方法	学習項目毎の課題添削により理解度を把握し個別にアドバイスを行う。
受講中・修了時における資格・就職へのバックアップ体制(例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	質問用紙による学習の質問に対して専門講師が個別に解答を行う。就業相談を全国各支店で設定し就業のバックアップを行う。
特記事項	

7. 受講修了者による講座の評価及び就業状況(平成28年度)

受講修了者数	7,124 人	回答者数	1,397 人
--------	---------	------	---------

■就業中の受講者による講座の評価

就業関係で役立つ	64.2%
その他の効果	29.9%
特に効果はない	5.9%

■就業していない受講者による講座の評価

就業関係で役立つ	73.4%
その他の効果	22.8%
特に効果はない	3.8%

■受講中または受講終了後の就業状況

3ヵ月以内に就職した	45.8%
3～6ヵ月以内に就職した	17.1%
6～12ヵ月以内に就職した	11.8%
就職していない	25.3%

8. 教育訓練内容

訓練期間	スクーリング		内容	自宅学習 レポート
	回数	時間数		
4か月	第1回	(1時間)	オリエンテーション(開講挨拶・受講中の注意点)	
		6時間	職務の理解 (1)多様なサービスの理解 (2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	
	第2回	6時間	介護における尊厳の保持・自立支援 (1)人権と尊厳を支える介護 (2)自立に向けた介護	レポート1
			介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1)介護保険制度 (2)障害者総合支援法及びその他の制度 (3)医療との連携とリハビリテーション ※自宅学習のみ	レポート2
			介護の基本 (1)介護職の役割、専門性と多職種との連携 (2)介護職の職業倫理 (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント (4)介護職の安全	レポート1
	第3回	6時間	障害の理解 I (1)障害の基礎的理解 (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	レポート3
			障害の理解 II (3)家族の心理、かかわり支援の理解	レポート2
			老化の理解 I (2)高齢者と健康	
			認知症の理解 I (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	レポート3
	第4回	6時間	老化の理解 II (1)老化に伴うところとからだの変化と日常	レポート2
			認知症の理解 II (1)認知症を取り巻く状況 (3)認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 (4)家族への支援	レポート3
	第5回	3時間	介護におけるコミュニケーション技術 (1)介護におけるコミュニケーション (2)介護におけるチームのコミュニケーション	レポート2
		3時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (1)介護の基本的な考え方	レポート4
	第6回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (2)介護に関するところのしくみの基礎的理解 (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
	第7回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (4)生活と家事 (5)快適な居住環境整備と介護	
	第8回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	第9回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	第10回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	第11回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	第12回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	第13回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
	第14回	6時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 (13)介護過程の基礎的理解	
	第15回	4時間	ところとからだのしくみと生活支援技術 (14)総合生活支援技術演習	
		2時間	演習で取り扱った介護技術の習得の確認(実技チェック・○×式テスト)	
第16回	4時間	振り返り (1)振り返り (2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修		
	1時間	課程全体の知識習得度に関する修了評価(修了試験)		
	合計時間数	95時間	36時間	
	カリキュラム総時間数	131時間		

※ 都道府県要綱により、内容が異なる場合もあります。

9. その他の事項

指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社 ニチイ学館 代表者名: 代表取締役 森 信介
住所及び連絡先	東京都千代田区神田駿河台 2-9
給付制度担当部署	介護教育部 TEL:03-3291-5619 (受付時間: 祝日を除く月～金 9:00～17:15)